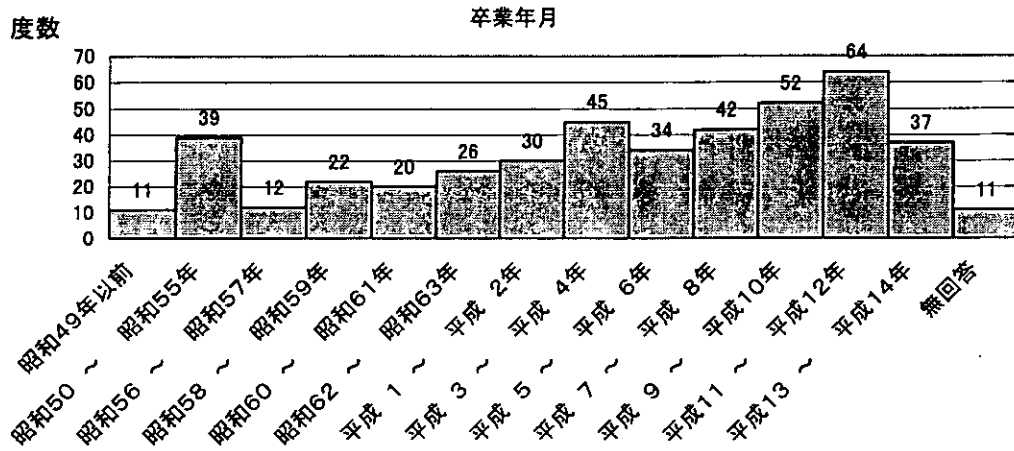
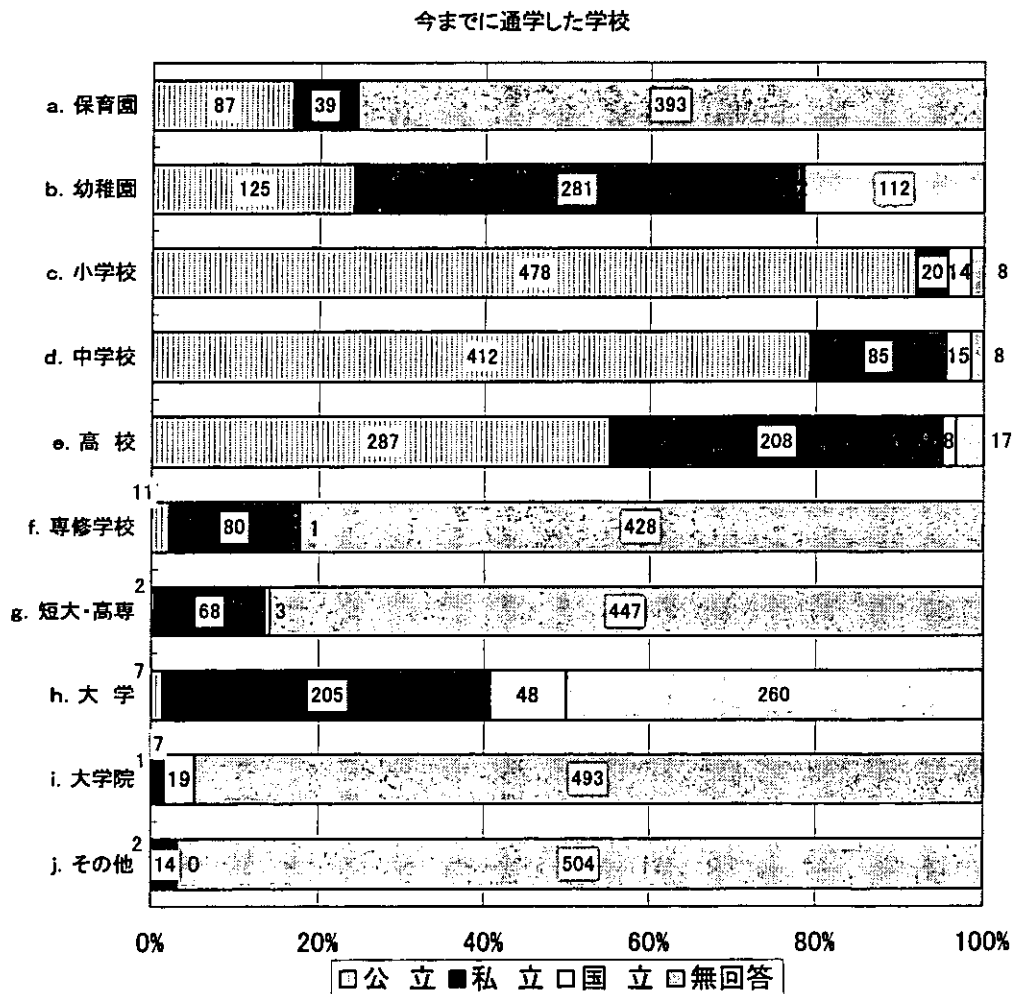


問36-3

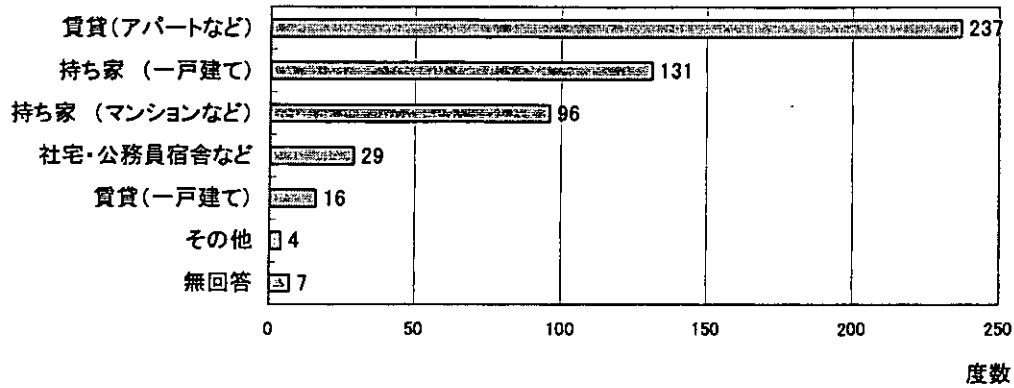


問37



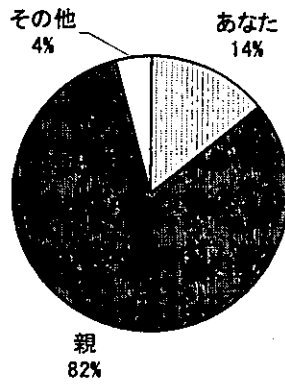
問38-1

現在の住まい

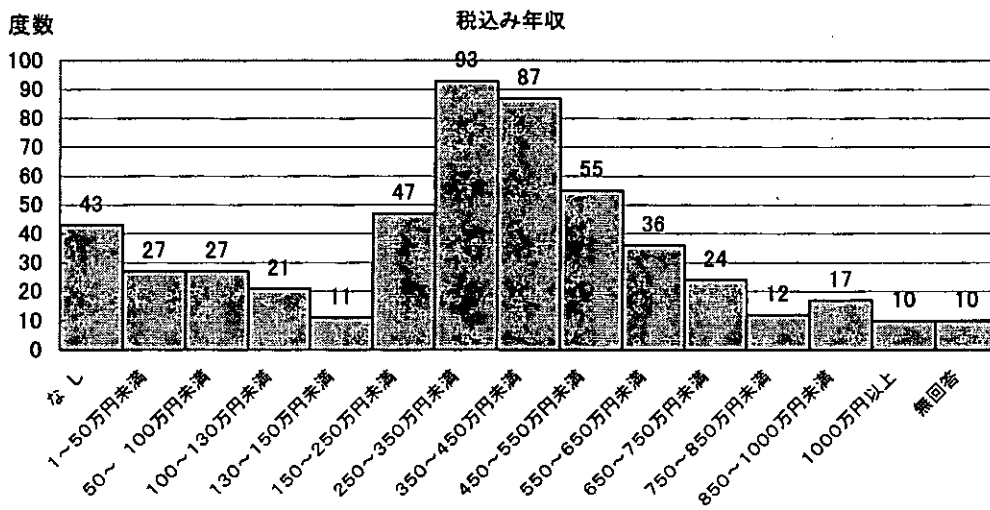


問38-2

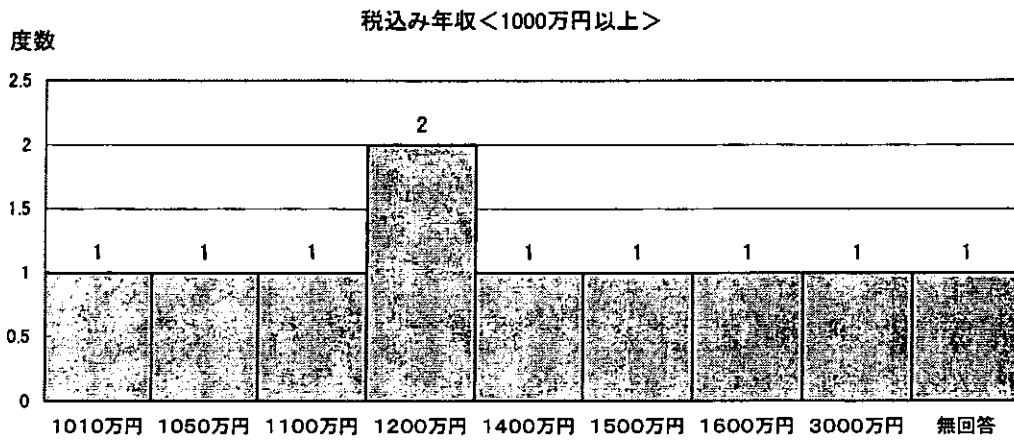
持ち家の所有者



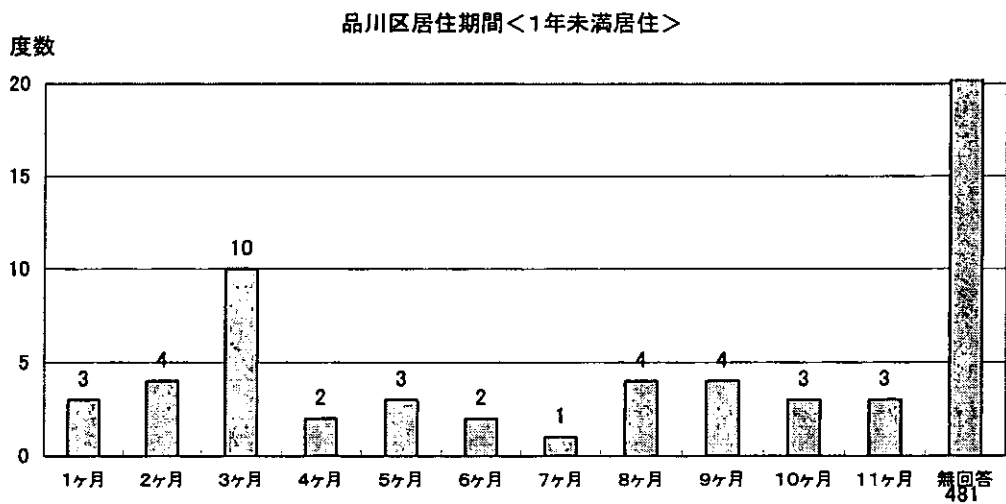
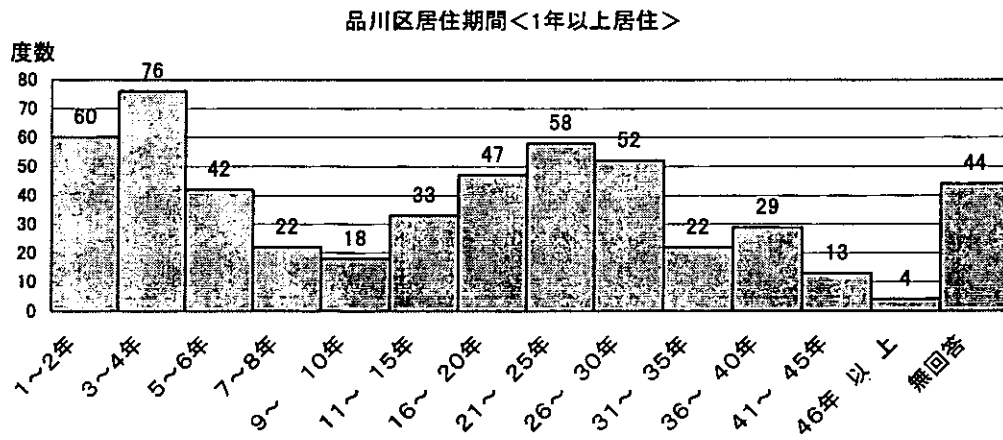
問39



問39

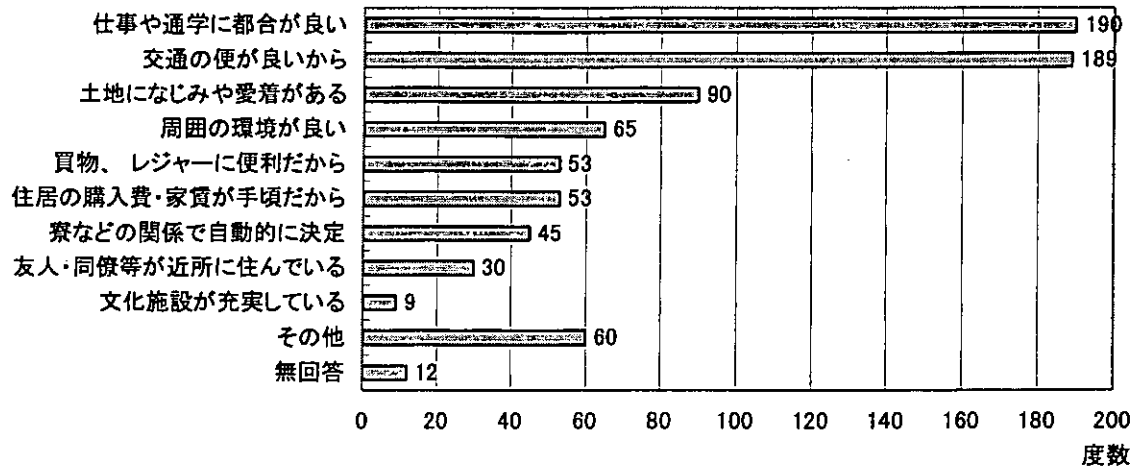


問40



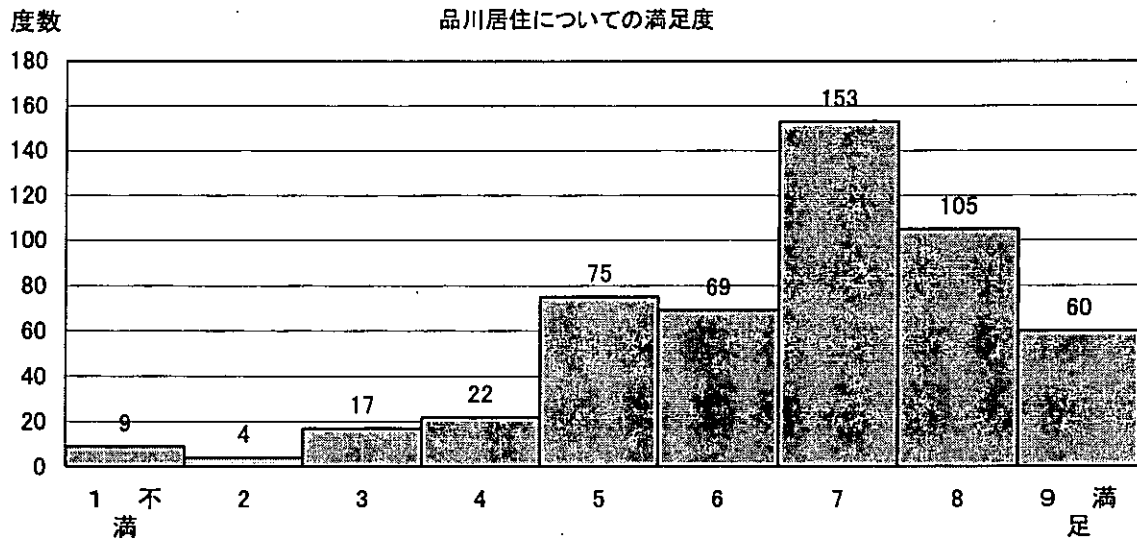
問41

品川区に住み始めた理由



問42

品川居住についての満足度



少子化に関する区民調査

結婚されている方(女性)用

※この調査では、法的な婚姻関係および事実上の結婚（内縁を含む）を結婚としております。

平成14年12月
(調査実施) 品川区企画部
(調査研究) 少子化研究会
(研究助成) 厚生労働省

※少子化研究会は国立社会保障・人口問題研究所を中心とした厚生労働省の研究プロジェクトです。

*** 調査ご協力のお願い ***

少子化の進行は、社会経済全般にわたって大きな影響を及ぼすと予測されており、品川区においても、少子化の動向をふまえた区政運営が、これまで以上に重要になってきております。

今回の調査は、区民の皆様が、仕事、家族、結婚、出産・子育てといったことに対して、どのような意識をお持ちになっているかをおうかがいするために実施するものです。区民の皆様の率直なお考えをお聞かせいただき、それらのご意見を少子化に関する政策立案の基礎資料にさせていただきます。

調査をお願いする皆様は、区内在住の20歳から49歳の結婚されている女性の中から、2000名の方を無作為に選ばせていただきました。

なお、プライベートなことをおうかがいする場合もございますが、この調査は無記名で行なわれ、また、回答はすべて統計的に処理されるため、個人が特定されることはありません。また、この調査票に記入した事項は、統計以外の目的に使用したり、他人にもらしたりすることは絶対にありません。本調査の主旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い申し上げます。

平成14年12月 品川区企画部

<アンケート調査のご記入にあたって>

- ① ボールペンまたは鉛筆で記入してください。
- ② このアンケートは、夫婦のうち女性(宛名のご本人)にご記入いただきます。なお、一部、配偶者(夫)のお考えについてご記入いただくところもございますので、よろしくお願ひします。
- ③ 質問番号順にお答えください。矢印(→)では指示にしたがって進んでください。

誠に勝手ながら、平成14年12月20日(金)までに、返信用封筒に切手を貼らずにご投かんくださいますようお願い申し上げます。(封筒にお名前を書く必要もございません。)

問合せ先：品川区企画部企画財政課企画担当
電話：03(5742)6607 (直通)

問1 あなたと夫の出生年月を記入してください。

あなた	夫
昭和____年____月	昭和____年____月

問2 あなたが、(1)現在の結婚生活(同居)を開始したのはいつですか。その年月を記入してください。また、(2)現在の結婚が初婚か再婚かについても、あてはまる番号に○をつけてください。

(1)結婚生活を開始した年月 [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] ____年____月	(2)初再婚の別	
	あなた	夫
	1. 初婚 2. 再婚	1. 初婚 2. 再婚

問3 あなたの学校卒業後(中退後)最初についた仕事と現在の仕事についておたずねします。各時期におけるあなたの(1)従業上の地位、(2)職業、(3)従業員数について、選択肢からあてはまるものを選び、太枠内の番号に1つずつ○をつけてください。

対 象 時 期 ↓	(1)従業上の地位	(2)職 業	(3)従業員数 (本社・支社・工場のすべてを含む)
	a. 卒業(中退)後の初職	1. 企業・団体の役員 2. 民間の正社員 3. 官公庁の正職員 4. パート・アルバイト・派遣 5. 自営業主・家族従業者 6. その他 7. 無職(学生を含む)・家事	1. 専門的・技術的職業 2. 事務・販売・サービス・保安職業 3. 農林漁業作業 4. 現場労働(運輸・製造・建設・その他) 5. その他
b. 現 在	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

問4 あなたの夫の学校卒業後(中退後)最初についた仕事と結婚を決めた時の仕事、及び現在の仕事についておたずねします。各時期におけるあなたの夫の(1)従業上の地位、(2)職業、(3)従業員数について選択肢からあてはまるものを選び、太枠内の番号に1つずつ○をつけてください。

対 象 時 期 ↓	(1)従業上の地位	(2)職 業	(3)従業員数 (本社・支社・工場のすべてを含む)
	a. 卒業(中退)後の初職	1. 企業・団体の役員 2. 民間の正社員 3. 官公庁の正職員 4. パート・アルバイト・派遣 5. 自営業主・家族従業者 6. その他 7. 無職(学生を含む)・家事	1. 専門的・技術的職業 2. 事務・販売・サービス・保安職業 3. 農林漁業作業 4. 現場労働(運輸・製造・建設・その他) 5. その他
b. あなたと結婚した時	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
c. 現 在	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

問5 あなたと夫が、学校卒業後（中退後）に初めて仕事についたのはいつですか。いままで仕事についたことのない方は記入しないで結構です。

あなた	夫
[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年____月	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年____月

問6 あなたの結婚・出産前後の時期における仕事についておたずねします。各時期におけるあなたの(1)主な従業上の地位、(2)職業、(3)従業員数について、選択肢からあてはまるものを選び、太枠内の番号に1つずつ○をつけてください。

対 象 時 期 ↓	(1)主な従業上の地位	(2)職 業	(3)従業員数 (本社・支社・工場のすべてを含む)
		1. 企業・団体の役員 2. 民間の正社員 3. 官公庁の正職員 4. パート・アルバイト・派遣 5. 自営業主・家族従業者 6. その他 7. 無職（学生を含む）・家事	1. 専門的・技術的職業 2. 事務・販売・サービス・ 保安職業 3. 農林漁業作業 4. 現場労働（運輸・製造・ 建設・その他） 5. その他
a. 結婚前の一年間	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
b. 結婚後の一年間	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
【以下は、出産を経験した方のみお答えください。】			
c. 第1子出産前の一年間	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
d. 第1子出産後の一年間	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
e. 第2子出産前の一年間	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5
f. 第2子出産後の一年間	1 2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5	1 2 3 4 5

問7 結婚前後・第1子出産前後・第2子出産前後のいずれかでお仕事を辞めた方におたずねします。各時期において、お仕事を辞めた理由は何ですか。選択肢からあてはまる番号を2つまで選び、重要な順に回答欄に記入してください。なお、「7. その他」を選ぶ場合はカッコ内に具体的な内容を記入してください。

<p>【右の回答欄に番号を記入】</p> <p>1. 家事・育児をしっかりとやりたかったから</p> <p>2. 夫の収入だけで暮らせるから</p> <p>3. 健康上の理由で</p> <p>4. 職場の都合や慣習で</p> <p>5. 夫が望んだから</p> <p>6. 転居することになったから</p> <p>7. その他 ()</p>	回答欄	第1	第2
	a. 結婚前後		
	b. 第1子出産前後		
	c. 第2子出産前後		

問8 あなたと夫の(1)一日の平均労働時間、(2)一週間の平均労働日数、(3)平均的な通勤時間(片道)、(4)平均的な帰宅時間についておたずねします。下の各欄について、それぞれ、あてはまる数字を記入してください。仕事をお持ちでない方は記入しないで結構です。

対象者	(1) 一日の 平均労働時間	(2) 一週間の 平均労働日数	(3) 平均的な 通勤時間(片道)	(4) 平均的な 帰宅時間	
あなた	_____時間	_____日	_____時間_____分	午前 午後	_____時頃
夫	_____時間	_____日	_____時間_____分	午前 午後	_____時頃

問9 下欄に女性の生き方のタイプがいくつか示してあります。

(1) あなたの理想とする人生はどのタイプですか。

(2) 理想は理想として、実際になりそうなあなたの人生はどのタイプですか。

それぞれ、あてはまるものを下の選択肢の中から選び、回答欄にその番号を記入してください。

なお、「7. その他」を選ぶ場合は、具体的な内容をカッコ内に記入してください。

【下の回答欄に番号を記入】

1. 結婚・出産で仕事を辞めず、フルタイムの仕事を続ける
2. 結婚・出産で仕事を辞めず、パートタイムの仕事を続ける
3. 結婚あるいは出産を機にいったん退職し、適当な時期にフルタイムの仕事につく
4. 結婚あるいは出産を機にいったん退職し、適当な時期にパートタイムの仕事につく
5. 結婚あるいは出産を機に退職し、その後は仕事につかない
6. 結婚・出産をせず、仕事を続ける
7. その他(具体的に: _____)

↓

回 答 欄	
(1)理想とする人生のタイプ	
(2)実際になりそうな人生のタイプ	

問10 あなたが15歳の頃、あなたの家庭の暮らしぶりは、当時の平均的な家庭と比べて、どうでしたか。あなたの考えに近い数字に○をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
← 低い												高い →				

問 11 現在のあなたの暮らしぶり、世間一般と比べて、どのくらいだと思いますか。あなたの考えに近い数字に○をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
← 低い										高い →						

問 12 現在のあなたの暮らしぶり、あなたが 15 歳の頃と比べて、どのくらいだと思いますか。あなたの考えに近い数字に○をつけてください。

1	2	3	4	5	6	7	8	9
← 低い										高い →						

問 13 あなたが 15 歳の頃、あなたの父親は、仕事と家庭のどちらを優先していましたか。また、現在、あなたは仕事と家庭のバランスという点でどのような父親像が望ましいと思いますか。それぞれ、あなたの考えに近い数字に○をつけてください。なお、15 歳の頃に父親が不在だった方は、(1)は無記入でけっこうです。

(1) あなたが 15 歳のときのあなたの父親

1	2	3	4	5	6	7	8	9
← 家庭優先										仕事優先 →						

(2) あなたの望む父親像

1	2	3	4	5	6	7	8	9
← 家庭優先										仕事優先 →						

問 14 親との別居経験についておたずねします。あなたと夫は、それぞれ、(1)一年以上親と別居して生活したことがありますか。ある場合は、初めて親元を離れた時の年月と(2)主な別居理由、および(3)親元を離れる前に住んでいた地域についてもお答えください。

対象者	(1) 別居経験の有無	(2) 別居理由 ※主なもの1つに○	(3) 別居前居住地
あなた	1. ある ↓ [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] → _____年 _____月に別居 2. ない	1. 進学 2. 就職 3. 転勤・転職 4. 結婚 5. 親からの自立 6. その他 ()	1. 農村、山村、漁村 2. 地方小都市 3. 県庁所在地、それと同等以上の大都市
夫	1. ある ↓ [1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] → _____年 _____月に別居 2. ない	1. 進学 2. 就職 3. 転勤・転職 4. 結婚 5. 親からの自立 6. その他 ()	1. 農村、山村、漁村 2. 地方小都市 3. 県庁所在地、それと同等以上の大都市

問 15 あなたは「結婚適齢期」というものがあると思いますか。あてはまる番号に○をつけてください。あると思う方は、男性・女性それぞれの結婚適齢期について、数字を記入してください。

男性の結婚適齢期	1. 特にないと思う	2. あると思う→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	歳くらい
女性の結婚適齢期	1. 特にないと思う	2. あると思う→	<input type="text"/>	<input type="text"/>	歳くらい

問 16 あなた方ご夫婦の現在の世帯人数および親との同別居についておたずねします。(1)あなたを含めた世帯の人数、(2)あなたの親との同別居、(3)あなたの夫の親との同別居について、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

(1)世帯人数	(2)あなたの親との同別居		(3)あなたの夫の親との同別居	
	あなたの父親	あなたの母親	夫の父親	夫の母親
あなたを含めて _____人	1. 同居 2. 同じ敷地内で別居 3. 同じ市区町村内で別居 4. それ以外の地域で別居 5. すでに亡くなっている	1. 同居 2. 同じ敷地内で別居 3. 同じ市区町村内で別居 4. それ以外の地域で別居 5. すでに亡くなっている	1. 同居 2. 同じ敷地内で別居 3. 同じ市区町村内で別居 4. それ以外の地域で別居 5. すでに亡くなっている	1. 同居 2. 同じ敷地内で別居 3. 同じ市区町村内で別居 4. それ以外の地域で別居 5. すでに亡くなっている

問 17 あなたと夫の兄弟姉妹数をカッコ内に記入してください。いないときは0を記入してください。

あなた	兄 () 人	姉 () 人	弟 () 人	妹 () 人
夫	兄 () 人	姉 () 人	弟 () 人	妹 () 人

問 18 あなたは現在の結婚生活に満足していますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

1. 満足している
2. どちらかといえば満足している
3. どちらかといえば不満である
4. 不満である

問 19 貯蓄を除いた家計支出のうち、あなたと夫の支出負担割合はどのくらいですか。あてはまる数字を記入してください。

あなた () %	夫 () %
-----------	---------

問 20 あなたの夫の家事分担と子育てについておたずねします。あなたの夫は、次の a～i にあげる家事や子どもの世話をどのくらいしていますか。太枠内のあてはまる番号に、それぞれ1つずつ○をつけてください。(f～iは子どものいる方のみお答えください。)

家事・子どもの世話の種類		1 たいてい する	2 半分程度 する	3 ときどき する	4 たまに する	5 まったく しない
子どもが生まれる前 ※全員の方が記入	a. 家の掃除	1	2	3	4	5
	b. 洗濯	1	2	3	4	5
	c. 夕食の用意	1	2	3	4	5
	d. 買物(日用品や食料品)	1	2	3	4	5
	e. 親などの介護(要介護者がいる方のみ記)	1	2	3	4	5
子どもが生まれてから ※小学生のときまで	f. 子どもの食事の世話	1	2	3	4	5
	g. 子どもの送り迎え	1	2	3	4	5
	h. 子どもの遊び相手	1	2	3	4	5
	i. 子どもを風呂に入れる	1	2	3	4	5

問 21 次の a～l の生き方や考え方について、あなたはどのように思いますか。それぞれについて、太枠内のあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

生き方や考え方について	1 そう 思う	2 どちらか という ええ	3 そうは 思わない	4 そうは 思わない
a. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4
b. 子どもが小さいうちは、母親は育児に専念すべきだ	1	2	3	4
c. 年をとった親は子どもが面倒をみるべきだ	1	2	3	4
d. 男女が一緒に暮らすなら結婚すべきだ	1	2	3	4
e. 子どもは法的に結婚した夫婦の間で生まれるべきだ	1	2	3	4
f. 結婚しても必ずしも子どもを持つ必要はない	1	2	3	4
g. 女性が自立するには仕事を持つことが必要である	1	2	3	4
h. 男性も身の回りのことや家事をするべきだ	1	2	3	4
i. 一生独身でいるより、結婚したほうが良い	1	2	3	4
j. 夫に十分な収入がある場合、妻は仕事を持たない方がよい	1	2	3	4
k. 妻にとって、自分の仕事を持つよりも夫の仕事の手助けをする方が大切	1	2	3	4
l. 母親が働くと、小学校へあがる前の子どもに良くない影響を与える	1	2	3	4

問 22 あなた方ご夫婦の間に子どもは何人いますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。
5人以上いる場合は、人数を記入してください。

0. 子どもはいない	3. 3人
1. 1人	4. 4人
2. 2人	5. 5人以上 (____人)

問 23 子どもが1人以上いる方におたずねします。生んだ子ども(死産・流産は除く)について、第5子まで、(1)子どもの性別、(2)出生年月、(3)現在の生死の別について記入してください。6人以上子どもをお持ちの場合は、第5子までの記入でけっこうです。

出生順位	(1)性別	(2)出生年月	(3)現在の生死の別
a. 第1子	1. 男 2. 女	{1. 昭和 2. 平成 3. 西暦} ____年____月生まれ	1. 生存 2. 死亡
b. 第2子	1. 男 2. 女	{1. 昭和 2. 平成 3. 西暦} ____年____月生まれ	1. 生存 2. 死亡
c. 第3子	1. 男 2. 女	{1. 昭和 2. 平成 3. 西暦} ____年____月生まれ	1. 生存 2. 死亡
d. 第4子	1. 男 2. 女	{1. 昭和 2. 平成 3. 西暦} ____年____月生まれ	1. 生存 2. 死亡
e. 第5子	1. 男 2. 女	{1. 昭和 2. 平成 3. 西暦} ____年____月生まれ	1. 生存 2. 死亡

問 24 あなた方ご夫婦にとって、理想の子どもの数は何人ですか。あなたと夫のそれぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。5人以上の場合は、人数を記入してください。

あなた		夫	
0. 子どもはいらない	3. 3人	0. 子どもはいらない	3. 3人
1. 1人	4. 4人	1. 1人	4. 4人
2. 2人	5. 5人以上 (____人)	2. 2人	5. 5人以上 (____人)

問 25 あなた方ご夫婦は、これから何人子どもを持つつもりですか。あなたと夫のそれぞれについて、あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。5人以上の場合は、人数を記入してください。

あなた		夫	
0. もう持つつもりはない	4. あと4人	0. もう持つつもりはない	4. あと4人
1. あと1人	5. あと5人以上	1. あと1人	5. あと5人以上
2. あと2人	(____人)	2. あと2人	(____人)
3. あと3人		3. あと3人	

問 26 あなた方ご夫婦の意見を調整しますと、すでにいる子どもと、これから持つつもりの子どもの合わせて全部で何人の子どもを持つつもりですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。5人以上の場合は、人数を記入してください。

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 0. 子どもを持つつもりはない | 3. 3人 |
| 1. 1人 | 4. 4人 |
| 2. 2人 | 5. 5人以上 (____人) |

問 27 前問（問 26）でおたずねした予定子ども数について、回答された子どもの数より多くの子どもを持つとなさらないのはどうしてですか。その理由について、あてはまるものを最大3つまで選んで○をつけてください。なお、「11. その他」を選ぶ場合は、カッコ内に具体的な内容を記入してください。

- | |
|---|
| 1. 自分のやりたい勉強や趣味をする時間がなくなるから |
| 2. 自分の仕事（勤め、家業、家事、介護）からみて負担がかかりすぎるから |
| 3. 子ども一人一人の面倒をみる時間が十分とれなくなるから |
| 4. 教育費がかかりすぎ、子ども一人一人に十分お金をかけてあげられなくなるから |
| 5. 生活水準が落ちてしまうから |
| 6. 子育ての精神的負担が重くなりすぎるから |
| 7. 子育ての体力的負担がかかりすぎるから |
| 8. 出産年齢が高くなりすぎるから |
| 9. 住居のスペースに余裕がないから |
| 10. 子育ての社会的環境が整っていないから |
| 11. その他（具体的に： _____） |

問 28 あなた方ご夫婦が結婚した当時、あなたは何人の子どもを持つとうとお考えでしたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 0. 子どもを持つつもりはなかった | 4. 4人 |
| 1. 1人 | 5. 5人以上 (____人) |
| 2. 2人 | 6. 特に考えていなかった |
| 3. 3人 | |

問 29 前問（問 28）で、結婚当時、子どもを1人以上持つつもりだった方にうかがいます。最初の子どもは、遅くとも、あなたが何歳くらいの時に持つとうと思っていましたか。あてはまる番号に1つだけ○をつけ、1を選んだ場合は、持つとうとお考えだった年齢を記入してください。

- | |
|--|
| 1. 遅くとも自分が <input type="text"/> <input type="text"/> 歳くらいのとき |
| 2. 何歳で持つかは特に考えていなかった |

問 30 「子どもに手がかからなくなる」という言い方があります。「手がかからなくなる」とは、子どもが何歳ぐらいのことをさすと思いますか。あなたのお考えになる年齢を記入してください。

子どもが

--	--

 歳くらい

問 31 あなたの独身時代における家族に対するお考えについておたずねします。下の a~j のそれぞれについて、太枠内のあてはまる番号に1つつ〇をつけてください。

独身時代の家族に対する考え	1	2	3	4
※独身時代にすでに父親や母親が亡くなっている場合には、覚えている範囲でご回答ください。	そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う 思 う	ど ち ら か と い え ば そ う は 思 わ な い	そ う は 思 わ な い
a. 結婚後は自分の親と同居したかった	1	2	3	4
b. 最後に頼れるのはやはり家族だと思っていた	1	2	3	4
c. あなたの親はあなたが金銭的に困難なときに援助してくれた	1	2	3	4
d. あなたとあなたの親は対等な関係だった	1	2	3	4
e. あなたの父親はあなたが困ったときに相談できた	1	2	3	4
f. あなたの母親はあなたが困ったときに相談できた	1	2	3	4
g. あなたの父親はあなたの友人や恋人のことをよく知っていた	1	2	3	4
h. あなたの母親はあなたの友人や恋人のことをよく知っていた	1	2	3	4
i. あなたの父親はあなたのことをよく理解していた	1	2	3	4
j. あなたの母親はあなたのことをよく理解していた	1	2	3	4

<p>一人以上子どもを持つつもりの方・すでに子どもを持っている方</p> <p style="text-align: right;">—————> このまま問32へお進みください</p> <p>それ以外の方 —————> 問43へお進みください</p>
--

問 32 あなたは、現在、できるだけ早く妊娠・出産したいと思っていますか。「はい」とお答えになった方は、妊娠・出産したいと思いはじめて、どれくらいになりますか。それぞれ、あてはまる番号に1つつ〇をつけてください。

<p>1. はい</p> <p>2. いいえ</p> <p>3. 現在妊娠中</p>	→	<p>1. 1年未満</p> <p>2. 1年以上2年未満</p> <p>3. 2年以上</p>
--	---	--

問 33 あなたのお子さん(これから持つつもりの子どもを含めて)には、どの段階の学校まで進学してほしいですか。男の子、女の子について希望するものを1つずつ選び、○をつけてください。すでに学生でない子どもをお持ちの場合は、最終卒業学校について記入してください。

進学してほしい段階	男の子(長男)	女の子(長女)
	1. 中学校 2. 高校 3. 専修学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院	1. 中学校 2. 高校 3. 専修学校(高卒後) 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院

問 34 前問(問 33)で、子どもに「大学」まで卒業してほしいと回答された方におたずねします。あなた方ご夫婦は、大学の学費負担について、どのようにお考えですか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。子どもがすでに大学を卒業している場合は、事実と同じ選択肢に○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 全額負担する(全額負担した)
2. 一部負担する(一部だけ負担した)
3. 本人に全額負担させる(全額本人が負担した)
4. その他() |
|---|

問 35 あなたの子どもには、次に挙げる学校について、公立・私立・国立のどれに通ってほしいですか。太枠内のあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。すでに卒業した学校については事実を記入してください。

学校の種類	男の子(長男)				女の子(長女)			
	1 公 立	2 私 立	3 国 立	4 でい も ず よ れ い	1 公 立	2 私 立	3 国 立	4 でい も ず よ れ い
a. 小 学 校	1	2	3	4	1	2	3	4
b. 中 学 校	1	2	3	4	1	2	3	4
c. 高 校	1	2	3	4	1	2	3	4
【以下は、進学を希望する(または通った)学校の欄のみお答えください。】								
d. 専修学校(高卒後)	1	2	3	4	1	2	3	4
e. 短大・高専	1	2	3	4	1	2	3	4
f. 大 学	1	2	3	4	1	2	3	4
g. 大 学 院	1	2	3	4	1	2	3	4

問 36 あなたのお子さん（これから持つつもりのお子さんを含めて）には、乳幼児（0～5歳）および小・中・高校生のとき、どんな習い事をさせたいですか。各回答欄に対して、選択肢からあてはまるものを最大で5つまで選び、番号を記入してください。すでに終わった学年や現在該当する学年については事実を記入してください。なお、「15. その他」を選ぶ場合は、回答欄に具体的な内容を記入してください。

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 水泳 | 9. 数や文字を教える知育・学習教室 |
| 2. サッカー、野球などのスポーツ | 10. しつけ等を教える幼児教室 |
| 3. 習字 | 11. 学習塾、予備校 |
| 4. そろばん | 12. 家庭教師 |
| 5. ピアノ・エレクトーンなど音楽教室 | 13. 剣道、柔道などの武道 |
| 6. 体操 | 14. バレエやジャズダンス、日本舞踊などダンス |
| 7. 英会話などの語学教室 | 15. その他（回答欄に記入） |
| 8. 絵画・工作 | |



子どもの時期	男の子（長男）	女の子（長女）
a. 乳幼児（0～5歳）		
b. 小学生（1～3年）		
c. 小学生（4～6年）		
d. 中学生		
e. 高校生		

問 37 あなたは、次にあげる子どもの教育に関する考え方についてどう思いますか。あてはまる番号に1つつ〇をつけてください。

子どもの教育に関する考え方	1	2	3	4
	そう思う	そう思う どちらかといえ ば	どちらかといえ ば そうは思わない	そうは思わない
a. 学歴によって、生涯に得られる合計所得にはかなり格差が出る	1	2	3	4
b. 子どもの学歴は家庭のしつけや親の教育方針で決まる	1	2	3	4
c. 子どもの学歴は生まれ育った家庭の教養や文化で決まる	1	2	3	4
d. 子どもの学歴は親の経済力で決まる	1	2	3	4
e. 日本はどの学校を出たかで人生がほとんど決まる	1	2	3	4

問 38 お子さんの保育についておたずねします。最初のお子さんが満3歳になるまでの間、お子さんの保育をどなたがなさいましたか。また、どのような制度を利用しましたか。主なものを3つまで選び、○をつけてください。子どものいない方は、希望をお答えください。

- | | |
|-----------------|--------------------------|
| 1. あなた | 8. 近所の人や友人 |
| 2. 夫 | 9. 認可保育所（公立・私立） |
| 3. 同居している夫の親 | 10. 企業内保育所 |
| 4. 同居している妻の親 | 11. その他の保育施設（無認可・ベビーホテル） |
| 5. 近くに別居している夫の親 | 12. 個人家庭保育やベビーシッターなど |
| 6. 近くに別居している妻の親 | 13. 育児休業 |
| 7. その他の親族 | |

問 39 あなたは、お子さんとの関係をどのようなものとお考えですか。あてはまるものを最大で5つまで選び、番号に○をつけてください。

- | |
|-----------------------------|
| 1. 子どもは自分の生きがいである |
| 2. 子どもの様子をみていると、イライラすることが多い |
| 3. 子どもとともに、自分も成長していく |
| 4. 子育ては、楽しいことよりも苦勞のほうが多い |
| 5. 子育てをしていると、自分のやりたいことが出来ない |
| 6. 子どもはどんなときも、自分を頼りにする |
| 7. 子どもの育て方に自信がもてない |
| 8. 子どもに尊敬される |
| 9. 子どもとは、友達のように付き合える |
| 10. 子どもの気持ちが分からない |
| 11. その他（具体的に： _____） |

問 40 あなたは、子どもを産んだり育てたりする上で、次のようなことに関して悩みや問題を感じますか。あてはまるものを最大で5つまで選び、番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 家庭の経済 | 9. 子どもの友人関係 |
| 2. 子どもの教育費 | 10. 子どもの病気や障害 |
| 3. 住居の問題 | 11. 子どもの身の安全 |
| 4. 子どもと接する時間 | 12. 子どもの受験や進学問題 |
| 5. 子育てを手伝ってくれる人／場所 | 13. 妊娠・出産に関する不安 |
| 6. 子育てと職業との両立 | 14. 子どもとの関係 |
| 7. 子どもをめぐる夫や親との考え方の相違 | 15. 家事・育児の負担が増えること |
| 8. 子どもの学校や幼稚園等での生活 | 16. 特にない |

問 41 あなたが子どもを育てる上で、あると良いと思うもの、もっと充実して欲しいと思うものについて、次の中からあてはまるものを最大で5つまで選び、○をつけてください。

1. 子育てについての相談や学習ができる場所
2. 働く間、小学校入学前の子どもを預けられる公的施設
3. 働く間、小学校の放課後に子どもを預けられる公的施設
4. 仕事以外の理由でも、一時的に子どもを預けられる公的施設
5. 土曜日や夏休みに学校で行なう補習授業
6. 子どもが友だちと自由に遊べる公園や遊び場の整備
7. サマーキャンプなど、夏休みに子どもを長期間預けられる活動
8. 子どもが自然や伝統工芸品作りなどを体験できる体験学習の機会
9. 親が子育てに十分関われる時間が取れるような職場環境
10. 子育てや子どもの教育のための経済的援助
11. 特にない

問 42 問 41 で列挙した以外のもので、あると良いと思うものをご自由にお書きください。

ここからは再び全員の方におたずねします。

問 43 現在のお住まいは次のどれにあたりますか。あてはまる番号に1つだけ○をつけてください。持ち家の場合は、所有者の名義について、あてはまる方すべてに○をしてください。

(1) 住居の種類	(2) 持ち家の所有者
<ol style="list-style-type: none">1. 持ち家（一戸建て）2. 持ち家（マンションなど）3. 賃貸（一戸建て）4. 賃貸（アパート・マンションなど）5. 社宅・公務員宿舎など6. その他（ ）	<ol style="list-style-type: none">1. あなた2. 夫3. その他

問 44 現在、あなた方ご夫婦は住宅ローンを支払っていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 支払っている | 2. 支払っていない |
|-----------|------------|

問 45 あなたと夫が、(1)最後に卒業した（または現在通学している）学校と(2)その卒業・在学の別についておたずねします。それぞれ、あてはまる番号を1つだけ選び、○をつけてください。さらに、すでに卒業されている方は、(3)卒業年月について数字を記入してください。

対象者↓	(1)最後に通学した（または現在通学している）学校	(2)卒業・在学の別	(3)卒業年月
あなた	1. 中学校 2. 高校 3. 専修学校（高卒後） 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他（ ）	1. すでに卒業 └───────────┘ 2. 現在在学中 （休学含む）	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年
夫	1. 中学校 2. 高校 3. 専修学校（高卒後） 4. 短大・高専 5. 大学 6. 大学院 7. その他（ ）	1. すでに卒業 └───────────┘ 2. 現在在学中 （休学含む）	[1. 昭和 2. 平成 3. 西暦] _____年

問 46 あなたと夫が今までに通学したすべての学校について、その学校が公立・私立・国立のいずれだったか、太枠内のあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

学校の種類	あなた			夫			
	1 公 立	2 私 立	3 国 立	1 公 立	2 私 立	3 国 立	4 わ か ら な い
a. 保 育 園	1	2		1	2		4
b. 幼 稚 園	1	2	3	1	2	3	4
c. 小 学 校	1	2	3	1	2	3	4
d. 中 学 校	1	2	3	1	2	3	4
e. 高 校	1	2	3	1	2	3	4
f. 専修学校（高卒後）	1	2	3	1	2	3	4
g. 短大・高専	1	2	3	1	2	3	4
h. 大 学	1	2	3	1	2	3	4
i. 大 学 院	1	2	3	1	2	3	4
j. そ の 他	1	2	3	1	2	3	4

問 47 昨年のおあなた自身とあなたのお夫の収入についておたずねします。税込み年収（ボーナスや副収入を含み、税金、社会保険料その他が引かれる前の支給総額）について、あてはまる番号を1つだけ選び、回答欄に記入してください。なお、「14. 1000万円以上」にあてはまる場合には、具体的な金額を記入してください。

回答欄		←	1. なし	9. 450～550万円未満
あなた			2. 1～50万円未満	10. 550～650万円未満
夫			3. 50～100万円未満	11. 650～750万円未満
			4. 100～130万円未満	12. 750～850万円未満
			5. 130～150万円未満	13. 850～1000万円未満
			6. 150～250万円未満	14. 1000万円以上
			7. 250～350万円未満	↳ [あなた 約 _____ 万円 夫 約 _____ 万円
			8. 350～450万円未満	

ここからは「品川区」についておたずねします。

問 48 あなたと夫は、品川区にどのくらい居住していますか。あてはまる数字を記入してください。

期間	あなた	夫
1年以上お住まいの方 →	() 年くらい	() 年くらい
1年未満の方 →	() ヶ月くらい	() ヶ月くらい

問 49 品川区に住んでみて、あなたはどのくらい満足していますか。あなたの考えに近い数字に○をつけてください。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

← 不満 満足 →

問 50 品川区に住んでみて、区の展開している子育て関連の行政サービスにあなたはどのくらい満足していますか。あなたの考えに近い数字に○をつけてください。

1 2 3 4 5 6 7 8 9

← 不満 満足 →